

# 松戸プロジェクトってどんな風に運営されている？

産官学民、多様な主体が強みを活かして住民主体の地域活動を支える仕組みづくりを行う

## 松戸市と千葉大学予防医学センターの介護予防に資する活動の共同研究協定

松戸市



千葉大学  
予防医学  
センター



JAGES  
日本老年学的  
評価研究



認定NPO法人サービスグラント  
プロボノのノウハウを活かした  
松戸PJへの支援・助言



世話人(連絡役)の委嘱

世話人、パートナーは  
松戸プロジェクトに参加する  
市民ボランティアです



「プロボノ」とは、  
社会的・公共的な目的のために  
職業上のスキルや専門知識を  
活かしたボランティア活動です

「パートナー」

市民・事業者等の地域貢献活動による松戸プロジェクトへの参画

情報発信・広報チーム

オンライン推進チーム

団体運営支援チーム

事業者・専門団体の  
連携支援チーム

地域活動の活発化支援



通いの場をはじめとした住民主体の地域活動の広がり・定着



松戸プロジェクトは、第2期を迎え、  
パートナーたちは4つのチームに分か  
れてプロジェクトを支えていくことにな  
りました。各々のチームの目的や抱負  
を語ってもらいました。

抱負



### 団体運営支援チーム

「団体運営支援チーム」は、各チームと協働して活  
動現場に寄り添いながら「元気応援くらぶ」はじ  
め「通いの場」の活性化を目指します。そのために  
当チームとしては次の二つの活動、  
1. 「元気応援くらぶ」交流会の開催  
2. 困り事などへの対応サポート  
を主にしていきます。

交流会については、オンラインとオフラインを併  
用してコロナ禍でも開催できるようにします。  
2021年6月26日(予定)の交流会は、「元気応  
援くらぶ」を運営する方々に、オンラインやオフ  
ラインでの活動内容をいくつか紹介します。ほ  
かに松戸市や企業などが提供するプログラム内  
容(コンテンツ)も活用いただけるようにします。  
困り事がある団体には、「サービスグラント：プ  
ロボノMATSUDO」、「まつど市民活動サポ  
ーターセンター」、「地域包括支援センター」等を紹介  
し、解決に向けて支援いたします。

### 事業者・専門団体 連携推進 チーム

私たちのチームは高齢者の介護予防に寄与して  
いこうと考えている企業や医療福祉の専門職の  
資源を、通いの場やサロンとマッチングすること  
を目的として発足しました。医師や薬剤師、管理  
栄養士といった肩書きのメンバーもチームに参  
加している他、経験豊富なプロボノワーカーが運  
営しています。Withコロナの中でできる活動  
として、オンラインを通じて通いの場を盛り上げ  
る企画などを進めています。ご関心のある方は是非  
お問合せください。

### 情報発信・広報チーム

情報発信・広報チームは、松戸プロジェクトのい  
わゆる「お知らせ」として、ニュースレター、ホー  
ムページの発行を基本活動とします。

また、広報活動の視点から「講演会」「シンポジウ  
ム」「ワークショップ」等を開催し、市民参加型の  
活動を他の3チームとの連携と協力の中で行い、  
松戸プロジェクトそのものの理解促進を図りま  
す。更に、地域活動の原点とも言えるヒトとヒト  
との交流を踏まえ、インタビューによる人物紹介  
等をニュースレターの誌面を通じて行う予定です。

最後に、「通いの場」のもう一つの性格でもある「  
居場所(づくり)の観点からも、広く交流や情報  
共有を考えていきます。

### オンラインチーム

「元気応援クラブ」など通いの場での活動も、コロ  
ナ禍の影響で大きく制約を受けています。このよ  
うな状況のもとで、オンライン推進チームは、松  
戸市「元気応援くらぶ」を中心として、通いの場を  
再び活性化させることを目標として活動を始め  
ています。そのために、従来の対面型ではない、オ  
ンライン「ミニコミュニケーション」を利用した「元気応  
援くらぶ」の新たな開催方法を提案、推進してい  
きたいと考えています。また、オンライン技術を  
活用することの有用性や問題点も検証すること  
も目標にしています。

チームメンバーは現在2名で小規模ですが、経験  
豊かなメンバーです。コロナに負けない「元気応  
援くらぶ」等の通いの場活動の実現を目指し活動  
を進めていきますので、ご協力宜しくお願いいた  
します。尚、今期の主な活動計画は以下の通りで  
す。

1. オンラインによる新たな運営方法を提供し、  
「コロナ禍でも魅力的な通いの場」運営を実現
2. オンライン活用の拡大に向け、「通いの場」参加  
者がオンラインを身近に感じて貰えるための  
無料講習会の継続的な開催と体験会参加後の  
フォローアップ。
3. オンラインによる「通いの場」運営者間情報  
交流の実現